

# 新庁舎建設基本構想・基本計画 策定委員会ニュース

資料2

第4号（2019.8.6発行）

## 《第4回策定委員会の概要》

7月22日（月）に開催した第4回策定委員会では、前半に前回から引き続き「基本理念・基本方針」の検討を行い、後半は「新庁舎に必要な機能」について意見交換をしました。

前半の「基本理念・基本方針」の検討では、第3回で委員から挙げた様々な意見を整理した「基本理念・基本方針（案）」（下表）を提示し、意見交換を行いました。

【次第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 「基本理念・基本方針」の検討
- 4 「必要な機能」の検討
- 5 その他
- 6 閉会

### ■ 提示した「基本理念・基本方針（案）」

基本理念（案）	基本方針（案）
“災害対応の拠点”として 70万区民を守る、たくましい庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんな災害時にも機能し得る庁舎</li> <li>○水害から区民を守り、確実な情報を発信できる庁舎</li> <li>○復旧・復興の司令塔となる庁舎</li> </ul>
“協働・交流の拠点”として開かれ、 シビックプライドを高めていくような庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区民の誇りとなり、集う庁舎</li> <li>○協働の拠点として開かれ、賑わいを生み出す庁舎</li> <li>○親しみやすい緑の空間が存在し、居心地の良い庁舎</li> <li>○区の歴史・文化を継承し、時代とともに発展していく庁舎</li> </ul>
“区民サービスの拠点”として、 誰にでも優しい庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政手続きがスムーズに行える庁舎</li> <li>○案内サインやバリアフリーが最大限に充実し、誰もが利用しやすい庁舎</li> <li>○職場環境が整い、より良い区民サービスの拠点となる庁舎</li> </ul>
“日本一のエコタウン”実現に向け、 環境の最先端を歩む庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺環境に調和し、緑豊かな庁舎</li> <li>○地球環境に配慮された優しい庁舎</li> <li>○環境性能の高い庁舎</li> </ul>
“健全財政”を貫きつつ、将来変化にも 柔軟に対応できる庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建設から維持管理まで、長期的な財政負担に配慮した庁舎</li> <li>○ライフサイクルコストの低減を意識した庁舎</li> <li>○人口のピークを見据えながら、使い方を工夫できる庁舎</li> </ul>

### 《委員から挙げた意見》

- 【災害対応】 区の地形を踏まえ、水害への対応に関する言葉があるのでよい
- 【協働・交流】 子どもや熟年者の“世代間交流”の場となるような表現があるとよい
- 【区民サービス】 “誰にでも優しい”という表現は多様性への対応という姿勢が示されているのでよい
- 【環境】 “環境の最先端”という表現を踏まえ、エコ活動を発信する場があるとよい
- 【健全財政】 シンプルで長く使える庁舎の建設が重要など



意見交換の様子

次ページは、後半「新庁舎に必要な機能」の検討について

後半は「基本理念・基本方針（案）」を実現するための「新庁舎に必要な機能」について検討をしました。検討に先立ち、事務局から「他自治体の庁舎の機能例」について説明を行った後、下表の新庁舎に必要な「機能を検討する上での考え方（案）」や「具体的な機能例」について意見交換をしました。



**災害対応機能例**（出所：渋谷区公表資料）  
被災情報やライフラインに関する情報を集約可能な防災システム



**コミュニティ機能例**（出所：長岡市公表資料）  
イベント等に活用できる屋根付き広場

## 基本理念・基本方針

実現するため

### 【必要な機能】

- ・災害対応機能
- ・省エネ機能
- ・窓口機能
- ・議会機能
- ・滞在機能
- など

## 「機能を検討する上での考え方（案）」と「具体的な機能例」

基本理念（案）	機能を検討する上での考え方（案）	具体的な機能例
“災害対応の拠点” として70万区民を守る、たくましい庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模災害が発生した場合でも機能し得る構造、設備を備える</li> <li>○復旧・復興の拠点となるよう、情報や設備、物品面などを充実させていく</li> </ul>	災害対策本部、免震構造、浸水対策、バックアップ機能、災害対応スペース、など
“協働・交流の拠点” として開かれ、シビックプライドを高めていくような庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○来庁者が憩える空間や、広場として活用できる空間を検討していく</li> <li>○団体や区民と行政とを繋ぐ、協働拠点の整備を検討していく</li> <li>○区政情報や区の魅力を発信できるスペースを検討していく</li> </ul>	外観デザイン、広場空間、区民協働スペース、情報発信スペース、カフェ、コンビニ など
“区民サービスの拠点” として、誰にでも優しい庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすく、スムーズに手続きが行え、安心して相談できる空間・設備を導入し、ユニバーサルデザインを徹底していく</li> <li>○来庁者の動線に配慮し、適正規模の駐輪・駐車場を設けていく</li> <li>○効率的かつ機能的な執務環境を整えていく</li> <li>○開かれた議会を目指していく</li> </ul>	ワンストップ窓口、総合案内、ユニバーサルデザイン、行政サービスの連携（国・都）駐輪・駐車場、議会機能 効率的な執務スペース など
“日本一のエコタウン” 実現に向け、環境の最先端を歩む庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然環境と調和した緑ある空間を検討していく</li> <li>○費用対効果に配慮し、省エネルギーや再生可能エネルギーを活用していく</li> </ul>	緑のある空間、発電機能、省エネルギー機器 など
“健全財政”を貫きつつ、 将来変化にも柔軟に対応できる庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○財政負担に配慮しながら、ライフサイクルコスト削減に資する設備を備えていく</li> <li>○耐久性・柔軟性・可変性を備えた建物としていく</li> <li>○保守・点検が容易に行える設備配置にしていく</li> </ul>	長寿命化に資する建築構造、柔軟性のあるスペース など

### 《委員から挙げた意見》

- 【災害対応】** 雨量等の正確な情報提供をしてほしい
- 【協働・交流】** 人が集まりたくなる屋外空間があるとよい
- 【区民サービス】** 子ども連れで来庁する際の訪れやすい環境が必要である
- 【環境】** 維持していくことを踏まえた緑化空間を計画する必要がある
- 【健全財政】** メンテナンスに配慮した建物の計画が重要である など

今回挙げた意見を踏まえ、改めて「基本理念・基本方針（案）」と必要な機能をまとめていきます。

### 《第5回開催の予定》

日程：9月11日（水）9：30 から  
会場：区役所本庁舎4階第一委員会室  
内容：基本理念・方針・機能のまとめ、  
必要な規模の検討

新庁舎建設に向けたご意見を募集しています。詳しくは区ホームページ（右の二次元コード）をご覧ください。



発行：経営企画部新庁舎建設推進担当課 電話：03-5662-0131